

新型コロナウイルス感染防止に向けて 「緑化ボランティア活動」のポイント

①はじめに

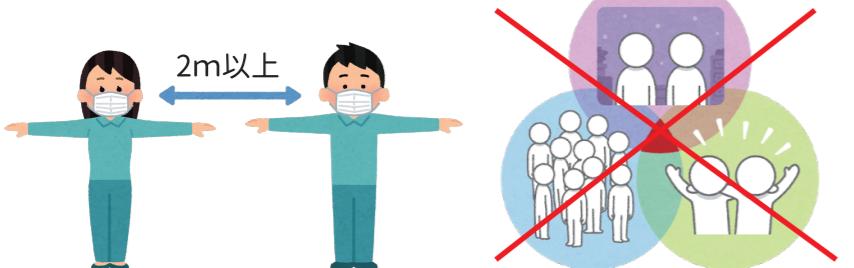
静岡県ホームページより『新型コロナウイルス警戒レベル』を確認しましょう。警戒レベルを踏まえ活動計画・実施を心掛けましょう。警戒レベルは毎週更新されるので、最新の情報を把握しておきましょう。

県の最新情報は
コチラから



②計画

- ◇活動時の参加者が大人数にならないように、少人数グループを基本とする分散した活動を計画しましょう。
- ◇作業をする際は、間隔をあけて密にならないように作業スペースを広めに確保しましょう。
(お互いの距離が2m以上とれるようにしましょう。)
- ◇活動中に起こり得る“3密”(密集、密閉、密接)を想定し、それをさけるように工夫しましょう。



③準備

- ◇感染防止のための関連グッズを用意しましょう。
(マスク、消毒液、フェイスシールド、非接触型体温計など)



- ◇使用する備品、器具は各自用意し、共有することは控えましょう。
やむを得ない場合は、アルコール消毒をしっかりしましょう。
- ◇参加者への感染防止対策について理解を促しましょう。
- ◇もし感染者が確認された場合の連絡を円滑にするために、参加者の氏名、住所、緊急連絡先を把握し、名簿を作成しましょう。
(接触確認アプリの活用を推奨)



④実施

- ◇作業当日は、参加者の体調を確認しましょう。
(体温測定や体調不良の確認)
- ◇作業は、マスクを着用し(2m以上確保できる場合はマスクを外しましょう。)十分な距離を確保しましょう。
大声での会話は避けましょう。
- ◇作業後は手洗い、消毒を徹底しましょう。
- ◇作業後、使用した備品は消毒しましょう。



熱中症対策について

- ◇激しい呼吸を伴う作業は行わないようにしましょう。
- ◇こまめな水分補給をしましょう。また、大量に汗をかいた場合は塩分も摂取しましょう。
- ◇休憩は日陰など、涼しい場所でとり、無理のない活動を心掛けましょう。



研修等でバスを利用する場合

- ◇バスでは、窓を開けることやエアコンで外気を入れるなど定期的に換気しましょう。
- ◇バス内ではマスクを着用してもらい、大きな声での会話などは控えてもらいましょう。
- ◇体調が悪い時はすぐ申し出もらうようにしましょう。



⑤もしものときは?

- ◇参加者の感染が疑われる場合
新型コロナウイルスの感染が疑われる参加者には、責任者に相談し、速やかに現地の「帰国者・接触者相談センター」へ連絡し、その指示に従うように促しましょう。

「帰国者・接触者相談センター」(24時間受付)

静岡市で発生した場合：054-249-2221

浜松市で発生した場合：0120-368-567

それ以外の市町で発生した場合：050-5371-0561

食事・休憩・会合について

- ◇お互いが2m以上離れられるようなスペースを確保し、向かい合っての飲食や会話は避けましょう。
- ◇大人数での休憩や食事は、時間をずらすことや換気などの対策をしましょう。
- ◇手作りの食事をする際は、食品を扱う人の健康管理と衛生管理(マスクや手袋着用)や調理器具の消毒を徹底しましょう。
- ◇集会所などで会合を行う際は、定期的に換気をしましょう。
- ◇施設の食堂を使う際は、その施設の基準に合わせて行いましょう。

緑化ボランティア活動は、新型コロナウイルス対策を万全にして無理のないように行いましょう。

※この内容は、静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課発行の新型コロナウイルス感染防止に向けて「ふじのくに新しい森づくり活動」のポイントリーフレットを参考に作成しました。